

小学校国語科における 「話すこと・聞くこと」の力を高める指導の工夫 —教師用単元シートと児童用学習シートにつながりをもたせて—

研究構想図

長期研修員 山本 綾乃

目指す児童像

- 話すとき・聞くとき・話し合うときのポイントが分かる
- 学習を振り返り、今後に活かしていける



「指導と評価の一体化」による授業改善

教師用単元シート【一単元一枚】

学習活動

「おおむね満足
できる」状況 (B)

「努力を要する」状況
(C) への手立て

学習活動	「おおむね満足できる」状況 (B)	「努力を要する」状況 (C) への手立て
1 相談ごとを話し合う計画を立てる活動を通して、学習の見通しをもつ。	学習の見通しをもち、関心をもって相談ごとの話し合いに取り組もうとしている。(主①)	教科書のどこに書かれているかと一緒に確認する。
2 相談するにあたってふさわしい話題の選び方を話し合う活動を通して、話題を考える。	相談するにあたってふさわしい話題を考えている。(思②)	もっとできるようになりたいことやできなくて困っていることを個別に問いかける。

質的な高まりや深まりをもっている児童とその様子を記入

努力を要する児童、支援をした児童と支援内容や様子を記入

児童用学習シートから教師用単元シートへのつながり

記述を基に学習活動や手立てを再考し指導上の留意点を追記

学習活動と「おおむね満足できる」状況 (B) を基に作成

児童用学習シート【一単位時間一枚】

めあて

学習内容

まとめ

振り返り

ふりかえり	まとめ	めあて	振り返り
先生より		友達にそうだしわだいを考よう思いつだけ書いてみよう。	「そっだんにのつください」② 名前 たんげんのかだい みんなて話をつなげて、そっだんことを話

授業中の見取りや授業後の評価を基にした助言

教師用単元シートから児童用学習シートへのつながり

児童

- 自分の考えを伝えるように話したり相手の意図や要点に気を付けて聞いたりすることが難しい

国・県の課題

- 評価を授業改善につながるものにしていく
- ねらいを明確にした交流活動の設定

教師

- 毎時間の見取りや評価が難しい
- 個への支援をどのようにしていくか

教師用単元シート

学習活動	「おおむね満足できる」状況 (B)	「努力を要する」状況 (C) への手立て
1 相談ごとを話し合う計画を立てる活動を通して、学習の見直しをもつ。	学習の見直しをもち、関心をもって相談ごとのお話合いに取り組もうとしている。(主①)	教科書のどこに書かれているかを一様に確認する。
	児童N けいかく。 A そうだんしあう M. まちなんけん。 ②児童3名	児童O ここをよくよんで" G C R ↓ ①児童J
2 相談するにあたってふさわしい話題の選び方を話し合う活動を通して、話題を考える。	相談するにあたってふさわしい話題を考えている。(思②)	もっとできるようになりたいこととできなくて困っていることを個別に問いつける。
○計画の確認 ○教科書 " ○CDをもう一度。	児童N 母のたん生月 K 夕べに帰る、夜早く A 足がはやくなる B ベンキョウが早くできる。 F 朝早くおきる。 ③児童4こ、R5こ	④ 問いかけても思いつかないお話し 児童G C, J, P, I, D H, T, K, D 1つも書いていない。
3 相談ごとについて話し合う活動を通して、ふさわしい話題を決める。	相談するにあたってふさわしい話題を決めている。(思②)	自分で話題を出すことが難しい児童が選べるよう、具体的な話題を教師が複数用意しておく。
○児童が考えた話題や具体例を全体に示す。 ○もう一度話題を考える時間ととり、付け足しをさせる。 ⑤児童1名	児童A としこのじかんの本のえらび方、理由も N 母のたん生月K、何をあげたいか、⑥おこんでほしいから R 夜早く帰るには、⑦いつもおそくなるから。	児童I この中からどうぞ？ F えらんていよ) C この中でじぶんもというところある？ ○きりぎり。

児童用学習シートから教師用単元シートへのつながり

教師用単元シートから児童用学習シートへのつながり

児童用学習シート

児童 J・P の記述

ふりかえり
おもしろい
がらばい
おもしろい
ふなかつたけど

児童 N の記述

ふりかえり
みんなが話し合える
わだかまがなくなった
先生より
よいわだかまを考えた
はっぴょうもできました
みんなのお手本になりました。

児童 G の記述

ふりかえり
足かたはわくたつた
そうだんにのって
足かたはわくたつた
そうだんにのって

まどみんたで話し合える
わだかまがよくなりました。

先生より
友だちが考えたわだかま
さんこうにして、そうだん
するわだかま一つきめま
しょう。

前時に取組の難しい児童が多かったので、全体に具体例を示し、付け加える時間をとることにした。

よさを認める言葉掛けを記入した。

話題を一つも考えられなかったので、児童用学習シートに助言した。次時は早い段階で相談する話題を決め、理由まで記入することができた。

成果
教師用単元シートと児童用学習シートの活用を通して、評価を指導に生かすことで、児童の「話すこと・聞くこと」の力が高まった。

課題
よりよい教師用単元シートと児童用学習シートの作成と、二つのシートのより有効なつながりのもたせ方を検討していく必要がある。

提言
児童の見取りに役立つシートを活用し、授業での児童の学びを振り返り、指導に生かしたり、児童の取組の向上につなげたりして、授業改善を図っていきましょう。